



議会だより

令和4年

5月
1日号

おおたわら市

〈題 字〉

大田原女子高等学校“成宮里虹さん”

No.205

古紙配合率100%再生紙使用



美原公園

市議会では**新型コロナウイルス感染症対策**を徹底して、定例会を行っております。

主な対策内容

- マスクを着用(発言時も着用する)。
- 傍聴の自粛(インターネット中継の視聴を推奨)。
- 一般質問の質問時間を10分短縮。
- 議場内の窓や扉は換気のため開けたままにする。
- 熱中症対策として、マスク自体の工夫やフェイスシールド等の着用。休憩時間では水分の補給を行う。



令和4年度 一般会計と5特別会計及び水道・下水道事業会計予算を審査

予算審査特別委員会



委員長
星 雅人



副委員長
高瀬 重嗣



※予算審査特別委員会全体会の様子

予算の概要

本定例会では一般会計と5特別会計及び水道・下水道事業会計の令和4年度予算関係議案が提出され、議員全員で構成する予算審査特別委員会を設置し、審査を行いました。

令和4年度一般会計と各特別会計及び水道・下水道事業会計を合計した歳入歳出総額は524億1070万円、予算総額を前年度と比較すると、7億7195万円、1.5%増となりました。

なお、歳出予算増の主な要因は、新型コロナウイルスの影響を受けている地域経済や住民生活の支援事業としての地域応援商品券事業、新型コロナウイルス接種事業、いちご一会とちぎ国体関係経費、過疎辺地計画に基づく事業などによるものです。コロナ禍においても安心して暮らしを送れることを目的とした予算編成となりました。(各会計の詳細は以下のとおりです。)

■ 一般会計、各特別会計別予算、水道・下水道事業会計予算の概要

(単位:千円、%)

区分	本年度予算額 (a)	前年度予算額 (b)	前年度からの増減額 (c)	比率 (c)/(b)	
一般会計	31,011,000	30,033,000	978,000	3.3	
特別会計	国民健康保険事業費	7,850,000	8,104,000	△254,000	△3.1
	介護保険	7,092,000	6,867,000	225,000	3.3
	子育て支援券	19,400	20,500	△1,100	△5.4
	後期高齢者医療	816,300	738,300	78,000	10.6
	須賀川財産区	25,000	950	24,050	皆増
	小計	15,802,700	15,730,750	71,950	0.5
水道事業会計	2,579,000	2,745,000	△166,000	△6.0	
下水道事業会計	3,018,000	3,130,000	△112,000	△3.6	
合計	52,410,700	51,638,750	771,950	1.5	

※水道事業会計及び下水道事業の金額は収益的支出と資本的支出の合計

令和4年第1回市議会定例会(3月定例会)は、2月21日(月)から3月8日(火)までの16日間を会期として開かれました。

本定例会に市長から提出された案件は、計画案件・条例制定や条例改正案件・令和4年度一般会計予算等予算案件など37件であり、また、陳情案件・議員案件を含めると計43件の審議を行いました。

令和4年度の一般会計予算は、新型コロナウイルス感染症対策関連事業や、子ども医療費助成の現物給付の対象拡大に要する経費、「いちご」一会とちぎ国体・とちぎ大会における競技会の開催経費などにより、前年度と比較して9億7800万円、3.3%増の310億

1100万円となりました。

市長から市民の皆様の不安を解消し、コロナ禍においても安心した暮らしが送れることを目的とした「大田原安心予算」として編成した市政運営の所信が述べられた後に、予算全般に関する説明があり、予算審査特別委員会が設置され、付託された予算案件は分科会毎に担当課から詳細な説明を受け、慎重に審査した上で全体会に諮りました。採決では本会議に上程された議案及び議員案は全て原案通りに可決し、陳情1件を採択いたしました。

議案詳細と各会派代表質問、一般質問の内容については6ページ以降をご覧ください。



令和4年 第1回大田原市議会定例会 審議された議案等と結果

議案番号	議案件名	結果
報告第1号	市長の専決処分事項の報告について(損害賠償の額の決定について)	報告受理
報告第2号	市長の専決処分事項の報告について(損害賠償の額の決定及び和解について)	報告受理
報告第3号	市長の専決処分事項の報告について (大田原市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について)	報告受理
議案第1号	市長の専決処分事項の承認を求めることについて (令和3年度大田原市一般会計補正予算(第9号))	承認(全会一致)
議案第2号	市長の専決処分事項の承認を求めることについて (令和3年度大田原市一般会計補正予算(第10号))	承認(全会一致)
議案第3号	令和4年度大田原市一般会計予算	原案可決(賛成多数)
議案第4号	令和4年度大田原市国民健康保険事業費特別会計予算	原案可決(賛成多数)
議案第5号	令和4年度大田原市介護保険特別会計予算	原案可決(賛成多数)
議案第6号	令和4年度大田原市子育て支援券特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第7号	令和4年度大田原市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決(賛成多数)
議案第8号	令和4年度大田原市須賀川財産区特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第9号	令和4年度大田原市水道事業会計予算	原案可決(全会一致)
議案第10号	令和4年度大田原市下水道事業会計予算	原案可決(全会一致)
議案第11号	大田原市過疎地域持続的発展計画の策定について	原案可決(全会一致)

議案番号	議案件名	結 果
議案第12号	大田原市辺地総合整備計画の策定について	原案可決(全会一致)
議案第13号	大田原市犯罪被害者等支援条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第14号	大田原市過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づく固定資産税の課税免除に関する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第15号	大田原市職員のサービスの宣誓に関する条例及び大田原市立学校職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第16号	大田原市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第17号	大田原市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第18号	大田原市一般職の職員の給与に関する条例及び大田原市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(賛成多数)
議案第19号	市長等の給与に関する条例及び大田原市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第20号	大田原市職員の旅費支給条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第21号	大田原市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第22号	大田原市自転車の安全な利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第23号	大田原市子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第24号	大田原市附属機関設置条例及び大田原市特別職の職員等で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第25号	大田原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第26号	大田原市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第27号	大田原市自家用有償バス設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第28号	大田原市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第29号	大田原市外国人留学生奨学金支給条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(賛成多数)
議案第30号	大田原市自家用有償バスの那須塩原市区域内運行に関する協議について	原案可決(全会一致)
議案第31号	令和3年度大田原市一般会計補正予算(第11号)	原案可決(全会一致)
議案第32号	令和3年度大田原市国民健康保険事業費特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案第33号	令和3年度大田原市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
議案第34号	令和3年度大田原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
陳情第1号	栃木県立那須特別支援学校寄宿舎閉舎の撤回と寄宿舎存続を求める陳情書	採択(全会一致)
陳情第2号	日本の法令に基づき、新型コロナウイルス感染予防に関連する強要は違法行為であることを、市民及び職場、学校への周知徹底の陳情	不採択(全会一致)
陳情第3号	新型コロナワクチンのリスクとベネフィット両方の情報開示の徹底と被害者相談窓口の設置に関する陳情	不採択(全会一致)
議員案第1号	ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議について	原案可決(全会一致)
議員案第2号	大田原市議会事務局条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議員案第3号	那須特別支援学校の寄宿舎存続を求める意見書の提出について	原案可決(全会一致)

令和4年 第1回大田原市議会定例会における表決状況一覧

議案	伊賀純	秋山幸子	鈴木隆	斎藤光浩	大塚正義	菊地英樹	新巻満雄	前田則隆	深澤正夫	櫻井潤一郎	星雅人	滝田一郎	大豆生田春美	中川雅之	高瀬重嗣	菊池久光	君島孝明	前野良三	引地達雄	高崎和夫	小林正勝
議案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第3号	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第4号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第5号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第7号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第9号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第10号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第11号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第13号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第14号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第15号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第16号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第17号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第18号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第19号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第20号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第21号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第22号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第23号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第24号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第25号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第26号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第27号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第28号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第29号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第30号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第31号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第32号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第33号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第34号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
陳情第1号 (採択に対して)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
陳情第2号 (不採択に対して)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
陳情第3号 (不採択に対して)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議員案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議員案第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議員案第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○

代表質問・一般質問 市政を問う

代表質問とは

3月定例会において、次年度の予算や市長の施政方針について、同一案件や同一事業の一般質問の重複をさけるため、会派を結成する議員の中から、会派を代表して質問することです。

一般質問とは

定例会において、議員が市民の代表として、行政全般にわたり市の考え方や施策の進捗状況及び将来における政策方針等を質すことです。また、議員は市長等の答弁を受け、疑問を質すことはもとより、市民の立場に立った事務事業の改善や政策提言をする議員の重要な権限です。

(次ページ以降の質問及び答弁に関する記事は、質問した議員が自ら原稿をおこし、それを掲載しています。なお、原稿提出があった方のみ掲載しております。)

質問通告者と質問事項

順番	質問者	質問事項	順番	質問者	質問事項
1	政友会 高崎 和夫	①令和4年度の予算編成について ②市内4高校の就職希望者に対する本市の支援について ③八溝山周辺地域定住自立圏構想について ④農業行政について ⑤デジタル田園都市国家構想について ⑥本市人口減少対策について ⑦大田原マラソンと与一まつりについて	5	大塚 正義	①新型コロナワクチン接種及び接種証明書(ワクチンパスポート)について ②コロナ禍のフレイル高齢者対策について ③学校給食費の公会計化について
		2	政友自民クラブ 櫻井潤一郎	①大田原市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例の改正について ②事業継続計画の策定について ③スポーツツーリズムの推進について ④いちご一会とちぎ国体のおもてなしについて ⑤低炭素建築物について	6
3	大田原創生会 滝田 一郎			①令和4年度大田原市予算編成について ②介護保険事業について ③子ども医療費助成における償還払いから現物給付への移行について ④市内水源地の増強による給水原価削減等水道ビジョンの実現について	7
		4	公明自民クラブ 中川 雅之	①令和4年度大田原市予算(案)について ②子育て家事支援制度の創設について ③弓道場建設について	8
9	星 雅人			①令和4年度予算について	
10	高瀬 重嗣			①親園地区の将来像について ②いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会について	
			11	前田 則隆	①大規模地震時の市民の安全・安心確保について

※太字が掲載されている項目

市内4高校の就職希望者に対する本市の支援について

代表質問



政友会
高崎 和夫 議員

大田原マラソンと与一まつりについて

質問…本市には4つの高校がある。卒業後の就職希望者に本市の企業等に就職をしてもらえるか又できるかの支援について伺います。

答弁…黒羽高校は、地元への定着率が高い。高校卒業者の若者に地元で就職して頂ける環境を整えることが人口減少問題の解決の糸口となると考えています。

質問…就職のためには車の免許も必要。市内企業等就職者にも必要。市内企業等就職者に2〜3万円程度のスーツ代を本市が先頭に立つての支援が考えられないか伺います。

答弁…地元で高校卒業で就職した時に、就職祝い金制度の創設については、地元若者をどうして残すかという観点から、政策の最優先課題に上げてもいいのではないかと。例えば、運転免許証の場合、30万円近くかかる時に、一時金として入学の奨学制度みたいなものを設けて就職してから徐々に返していけばいいとか、半額返せばいいと言う支援の仕方もあると思う。一時金で3万円〜5万円を支援しても、即戦力として地域の担い手となり、今度は納税者としてリターンが来る。前向きに奨学制度を検討してまいりたい。

質問…大田原マラソンの令和5年再開に向けた進捗について伺います。

答弁…令和5年度再開に向けて公認コースの決定を最優先課題として協議を進めています。これまで5回の準備委員会を開催し、コース決定の最終段階に入っており、令和4年度開催予定の第6回準備委員会において、複数候補から最終決定できるよ

質問…大田原マラソンの令和5年再開に向けた進捗について伺います。

答弁…令和5年度再開に向けて公認コースの決定を最優先課題として協議を進めています。これまで5回の準備委員会を開催し、コース決定の最終段階に入っており、令和4年度開催予定の第6回準備委員会において、複数候補から最終決定できるよ

う準備を進めている状況です。なお、昨年4月22日の組織委員会、開催日は今まで同様11月23日とする事で決定しています。令和4年度予算案には、コース公認手続のための予算措置をしており、令和4年度末にはコース公認の取得を考えております。

質問…与一まつりの進捗について伺います。

答弁…検討委員会において、祭りの名称を「与一まつり」とし8月の第1週の日曜日と翌土曜日の2日間で開催。会場は中央多目的公園を中心に、市道大田原野崎線の白河信用金庫前交差点から、山二商店前交差点の間。さらに、山二商店前交差点から中央通り、金燈籠交差点の区間。祭りのメインイベントは踊りと武者行列を中心に構成することで承認されました。

大田原市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の改正について

代表質問

政友自民クラブ
櫻井潤一郎 議員



低炭素建築物について

質問 栃木県及び県内市町の条例改正の状況について伺います。

答弁 昨年9月に茂木町が県内では初となる県外からの土砂等の搬入禁止、改良土の搬入禁止について条例改正を行っていて、12月には真岡市、さくら市など2市3町が同様の条例改正を行って行っています。また、事前の住民説明会の開催、面積要件等の改正を栃木市など2市4町が

行っています。県北地区では、

那須塩原市・那須町が条例改正を予定していて、那須町は昨日、決定されました。栃木県においては、現在のところ条例改正の予定はないとのこと。

質問 生活環境の保全のための見直しが必要であると思うが、市の考えを伺います。

答弁 ①県外土砂の搬入禁止、改良土の搬入禁止、②周辺住民

への事業概要の周知を義務化する、③周知方法についても規則

で定める、④事前に周辺住民の理解を得てから事業を開始する、⑤搬入される土砂等の安全基準について水質検査等を行う際に検査項目に水素イオン濃度指数を新たに追加する、⑥生活環境保全のために必要な措置を記載した書面の様式の改正等、改正案を本定例会に提出しました。

質問 二酸化炭素排出の抑制に資する建築物として、市はどのように広報しているか伺います。

答弁 国土交通省及び一般社団法人住宅性能評価・表示協会等のホームページで広報していて、本市においては、一般市民及び設計建築業者に対し、デジタル掲示による案内やリーフレットの配布により制度の周知を行っています。令和2年7月にゼロ

カーボンシティ宣言を行い、積極的に二酸化炭素排出量実質ゼロ

口を目指して取り組んでいるところであり、今後も低炭素建築物の建築促進を通じて、市民のカーボンニュートラルへの意識向上に寄与すべく広報活動に努めてまいります。

質問 認定の実績について伺います。

答弁 認定制度は、平成30年度

から始まりましたが、令和2年

度までは申請は0件、令和3年度に3件の申請があり、3件の認定を行っています。また、本市としては、低炭素建築物のほかに、長期優良住宅と建築物省エネ法の適合の住宅の3種類の省エネ性能を持った住宅のPRを行っています。長期優良住宅は令和2年度39件、本年度は2月までで48件の申請が出ています。

子ども医療費助成に
おける償還払いから
現物給付への移行に
ついて

代表質問



大田原創生会

滝田 一郎 議員

質問者席

市内水源地の増強に
よる給水原価削減等
水道ビジョンの実現に
ついて

質問…子ども医療費の現物給付

に向けての受給資格登録（受給資格者証交付）等及び医療機関との調整について伺います。

答弁…子ども医療費助成の受給資格については、出生や転入の際の登録情報により、現在の6歳児から中学2年生までのお子さんを対象に、令和4年4月以降に使用する新しい受給資格者証を3月下旬に発送いたします。

また、現物給付拡大に係る審査

支払い業務の委託についても、栃木県国民健康保険団体連合会及び社会保険診療報酬支払基金栃木支部の双方と4月1日からの実施に向けて、3月中旬に契約できるように事務を進めています。なお、各医師会と県内医療機関等に対しては、3月末までには現物給付の拡大に係る協力依頼とチラシを配布し、併せて

市や支払基金等のホームページ

や広報紙などにより周知を実施してまいります。
質問…現物給付における人件費など市の業務軽減について伺います。

答弁…窓口業務が0.5人分ぐらいは減るのではないかと査定はしていますが、実際は始まってみないと分からないというのが現状です。

質問…本市には多くの水源があり

石上配水池を含め、12施設が稼働しています。県内14市の水原価を水源別でみると県水など受水を伴う市は軒並み高水準です。とりわけ県水の利用率が高い本市は県内で最も高い1㎡当たり191.9円です。そこで市内水源地の増強及び統廃合による給水原価削減を行い安定、効率的な水道事業を目指すべき

と考えますが見解を伺います。

答弁…水需要や施設の劣化度を調査するとともに、施設の統廃合が可能な施設は積極的に行い、施設の長寿命化を図るための修繕等を行いながら給水原価の削減に努めています。なお、平成21年度から8か所の水道施設の統廃合を行っています。
質問…水道の主要建設計画について伺います。

答弁…今後の工事計画については、建設後約50年経過しました大田原配水池の更新工事、大田原浄水場から大田原配水池への送水管の更新工事、湯津上、黒羽地区の配水池の耐震化工事、老朽化している電気計装設備や配水管更新工事を計画的に行い、強靱な水道施設の整備を進め、安全で安心な水道水の供給に努めてまいります。

令和4年度大田原市予算(案)について

代表質問

公明自民クラブ

中川 雅之 議員



弓道場建設について

質問..いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会開催における大田原大会の予算について伺います。

答弁..令和4年度当初予算案にいちご一会とちぎ国体・とちぎ大会大田原実行委員会補助金3億3,600万円を計上、また歳入として県からの補助金、いちご一会国体運営交付金1億5,535万1千円を見込み計上しています。予算配分について

では、総会提出前である事から概要のみで、正式競技運営費は、会場設営費等の委託料に8割、デモンストレーションスポーツ運営費は、県の交付対象経費の上限が1競技75万円と定められており、各競技団体との協議、県とのヒアリングを経て、3競技合計で200万円強の運営費を想定しています。障害者スポーツ大会リハーサル大会と本大会

大田原西地区都市再生整備事業計画で検討を行いました。建設には至りませんでした。令和3年に策定の大田原市公共施設個別施設計画の中で、弓道場以外にも建て替えが計画されている体育施設が多くありますので、財政状況を見ながら優先順位等を精査し、利用者のニーズに答えられるような施設整備になるよう調査研究してまいります。

で100万円弱を見込み、公開競技の綱引きについては、日本スポーツ協会が規定する国民体育大会公開競技実施基準に開催に係る経費負担は自己負担とする事が開催の条件で、県補助金対象外とされていますが、地元開催の歓迎の意味も含め、市単独補助、いちご一会とちぎ国体綱引き競技開催費補助金30万円を一般会計に計上致しました。

質問..美原公園の市民プール跡地活用も含めた優先順位について伺います。

質問..弓道場建設に向けての考え・計画について伺います。

答弁..大田原市弓道場については、建設から半世紀近くが経過し、老朽化が進んでいる施設である事は承知しています。現在、弓道場がある場所での建て替えには制限もあり難しいと考え、場所の選定が必要とし、これまで何度か建設について検討した経緯があります。直近では、

答弁..西地区整備計画時に提言を行いました。資金が相当かかる事から難しい状況でした。これからは、スポーツを通じたまちづくりを、多くの市民の皆様方のご意見を頂きながら、場所、時期を定め、弓道場等が出来るよう尽力してまいります。

大田原西地区都市再生整備事業計画で検討を行いました。建設には至りませんでした。令和3年に策定の大田原市公共施設個別施設計画の中で、弓道場以外にも建て替えが計画されている体育施設が多くありますので、財政状況を見ながら優先順位等を精査し、利用者のニーズに答えられるような施設整備になるよう調査研究してまいります。

質問..美原公園の市民プール跡地活用も含めた優先順位について伺います。

答弁..西地区整備計画時に提言を行いました。資金が相当かかる事から難しい状況でした。これからは、スポーツを通じたまちづくりを、多くの市民の皆様方のご意見を頂きながら、場所、時期を定め、弓道場等が出来るよう尽力してまいります。

学校給食費の公会計化について



大塚 正義 議員

一般質問



秋山 幸子 議員

新型コロナウイルス感染拡大のもとで「子ども食堂」への支援の拡充について

質問…徴収及び事務処理の現状について伺います。

答弁…学校給食の提供については大田原地区及び湯津上地区では自校方式、黒羽地区はセンター方式となっております。施設及び設備に要する経費並びに調理業務委託料等の運営経費は自治体が負担し、食材料費は各学校で保護者から集金し直接支払いをする私会計方式となっております。

質問…事務処理に関わる教職員への延べ時間について伺います。

答弁…文科省によると、学校給食費管理に関する業務時間は1校当たり年間190時間、1カ月あたり15.8時間と報告されています。

質問…公会計化の考えがあるか伺います。

答弁…教職員の負担軽減だけでなく、学校給食会計の透明性の

確保、徴収や督促業務の効率化や強化、食料調達の実施や公的性の確保を図るため、令和5年度から公会計化の導入を予定しています。令和4年度は準備期間として、公会計化導入にかかるシステム導入費などの実施計画への計上、予算計上を行いました。今後も小中学校、関係部署との連携を図りながら準備を進めます。

質問…子ども食堂は、貧困対策や居場所づくり、学習支援などで重要な役割を果たしてきましたが、新型コロナウイルスの急速な感染拡大で休止が相次いでいます。今新たな支援策として

がある事から、市民の善意を生かしてバックアップする事は、自治体の役割として重要であると考え、市が子ども食堂と農家や支援者の仲介をする考えがあるか伺います。

と思いますので、市広報やSNSを活用し、子ども食堂の連絡先や個別ボランティア会の情報を提供し、市民の善意が生かされるよう取り組んでまいります。支援が必要な家庭の情報連携については、子供への聞き取りや成長曲線などを判断材料として育児支援が必要と思われる家庭の状況調査を行い子ども食堂に支援依頼を行っております。

子供がいる貧困世帯に子ども食堂が直接食品やお弁当を届ける宅食が始まっています。また、農家からは子ども食堂を支援したいという食材提供の問い合わせ

答弁…子ども食堂と農家の支援者との仲介については、市が行う事は現時点では考えておりませんが、子ども食堂と支援したい人を結びつけることはできる

本市のプラスチックごみの回収について



齋藤 光浩 議員

質問…プラスチックごみの回収について、今後どのように進めていくのか本市の考えを伺います。

答弁…プラスチック製品ごみの分別と再資源化の取組には、新たに指定ごみ袋の作成や収集体制の構築、再資源化するための事業者への引渡し方法などを決定し、市民の皆様には新たな分別をして排出することが必要に

なります。プラスチック製品ごみの取組については、全国的なことですが、国の指針等がまだはつきりと明示されている状況ではありません。現在本市の検討状況としては、那須塩原市、那須町、広域クリーンセンター大田原と意見交換などを実施、今後取組の方向など共通理解を深めているところです。また、県内市町の取組としても、県か

ら情報収集しているところで、具体的な実施時期、実施方法などについては現在決まっていないうのが現状です。今後プラスチック製品ごみの分別収集の実施時期や分別方法等が具体的にになれば、分別方法の資料を配布するなど、市民の皆様には十分な周知期間を設けて実施していきたいと考えています。

一般質問



伊賀 純 議員

大田原市におけるケアラー、ヤングケアラーにむけた対策と支援、今後について

質問…ヤングケアラー支援の取組について伺います。

答弁…家族のケアを行うことで子供の成育や学習に支障が出るのが心配されていますが、学校等において子供から聞き取りを行い、家庭環境等により子供の成長に悪影響が懸念される場合は子ども幸福課に情報提供し、介護保険や障害者支援制度を交えた利用調整を行っています。

質問…問題は、よくある手伝いとは違う事に気づけない事であり、きちんと実態把握が必要ではないのか、見解を伺います。

答弁…担任が児童生徒の家を必ず訪問し調査するシステムで対応しています。

質問…ヤングケアラーの当事者の声を受け止めるとの観点から、例えば「困ったこと何でも話してみても、何でも聞くよ窓口」

を、ツイッター、ラインなどのSNSを活用して、臨床心理士などの専門家が話し相手になる等、支援につなげていく窓口づくりができないか伺います。

答弁…令和4年度の組織体制は現時点において固まっておりますが、今後庁内の関係部署と協議をして、必要があるかどうかを含めた上で検討してまいりたいと考えております。

令和4年度予算について



星 雅人 議員

質問…2010年の大田原市長選挙以降、津久井市長が掲げ続けてきたマニフェストと令和4年度予算の関係を伺います。
答弁…3期12年の期間の中では幾つかの項目は当初のマニフェストから変更したものもありますが、一度マニフェストに掲げたものを変えてはならないとなると市政運営の硬直化を招くおそれがあることから、必要なも

のは残り一定の役割を果たしたものは社会情勢の変化や時々の出来事に対応するため、変更や終了も含め、見直しを行いながら市政運営を行ってきた結果です。しかし、このマニフェストの志は就任当初と何ら変わるものではなく、令和4年度を初年度とする総合計画、おおたわら国造りプランの後期計画にもその志をまちづくりの基本方針と

して反映しました。令和4年度予算はこの総合計画に折り込んだ各事業の経費をまとめた実施計画を基本に予算編成を行っていることから、この予算は私のマニフェストを具現化したものです。今後も公正、公平、公明の基本姿勢を貫き、市民の皆様、議員の皆様方のご協力をいただき、誠心誠意市政発展のために取り組んでまいります。

一般質問



高瀬 重嗣 議員

親園地区の将来像について

質問…親園佐久山バイパスの整備促進と市道親園佐久山線の親園中学校付近の拡幅改良は総合的に行われるべきだと考えるが市の考えを伺います。

答弁…沿線の花園地区は、公園と現況の不一致区域があります。この問題解消のために、現在国の交付金を活用した地籍調査事業を計画しています。議員指摘のとおり総合的に行うべきであ

り、両事業の進捗状況を確認しながら、親園中学校付近の道路整備計画を策定していきます。

質問…整備完了が待たれる市道加治屋親園線については、親園鴨内川地区圃場整備事業と関連し、整備すべきだと考えるが市の考えを伺います。

答弁…総合的に判断して、圃場整備事業区域には編入せず事業化を図る方針です。本路線は、

親園地区から加治屋を経て野崎地区や那須塩原市西那須野地区に通ずる路線として通勤、通学時間帯の交通量が多く、居住環境が整わないまま宅地化が進んでいる箇所と認識をしています。現在、一部用地の協力が得られず事業を休止しているが、再度地権者の意向を確認し、再開が見込めたら国からの交付金事業の導入も模索をしていきます。

議員現在数について

令和4年3月8日に星雅人議員が大田原市議会議員を辞職したことに伴い、また令和4年3月13日に鈴木隆議員が大田原市長選挙に立候補したため、自動失職となったことに伴い、それぞれ市議会議員に欠員が生じました。

これにより、本市議会議員の現在数は19人となりました。

市議会では インターネットによる 生中継をしております

●アクセス方法

ご自宅等のパソコンから生中継をご覧いただく際は、市のホームページの「**大田原市議会**」から「**議会中継**」のページへお進みください。また、タブレット端末及びスマートフォンからも視聴できます。

なお、本会議の録画映像も市ホームページにて配信しております。

さらに、議会報告会は公式 Facebook、YouTube でも配信しておりますので、ぜひご覧ください。



●大田原市ホームページ

<https://www.city.ohtawara.tochigi.jp/>

●お問い合わせ先

大田原市議会事務局 ☎0287-23-8714

一般質問



前田 則隆 議員

大規模地震時の市民の 安全・安心確保について

質問…家具の転倒による被害を軽減するための本市の取組について伺います。

答弁…近年の地震被害調査では、負傷者の約4割の方が屋内の家具類の転倒や落下により負傷していることが判明いたしました。加えて、家具類の転倒や落下、移動防止対策が地震時火災の防止に有効であることが示されております。今後の耐震化を促進

する取組といたしましては、引き続き市広報紙やホームページにより普及啓発と耐震診断耐震改修等に対する助成を柱として実施し、併せて家具類の転倒防止策につきましても周知をしております。まずは、3月に実施される建築物防災週間に於いて個別訪問またはポスティングによりまして普及啓発を行っていく予定であります。

質問…家具転倒防止取付け事業の提案について、本市の考えを伺います。

答弁…重要性を鑑みてご提案をいただきましたので、真剣に考えてまいります。



各委員会及び協議会の活動

総務常任委員会



委員長報告 ▶



総務常任委員会審査の様子

民生文教常任委員会



委員長報告 ▶



民生文教常任委員会審査の様子

建設産業常任委員会



委員長報告 ▶



建設産業常任委員会審査の様子

議会運営委員会の様子



全員協議会の様子





那須特別支援学校の寄宿舎存続を求める意見書

昨年11月、県教育委員会より那須特別支援学校の寄宿舎を2023年の3月末で閉舎するとの発表がありました。

児童・生徒、保護者や寄宿舎指導員に、十分な説明も問題の解決に向けた話し合いもないままの寄宿舎閉舎の発表に、私たちは驚きと失望を感じました。そして怒りも湧いてきました。

那須特別支援学校の寄宿舎は、児童・生徒や我々保護者にとって、なくてはならない特別支援教育の資源です。

県北地域で特別支援学校に通うためには、居住地からの距離、少ない公共交通機関の大きな障壁があります。これは児童・生徒の我慢、保護者の努力だけで越えられるものではありません。この地域の児童・生徒に特別支援教育の保障をするには寄宿舎が必要です。

貧困やネグレクトなど様々な家庭や、大人の事情のために入舎をして教育を受けている児童・生徒の生活の場をなくさないでください。寄宿舎は家庭環境に困難を抱える児童・生徒にとって、学習環境が整うだけでなく、福祉や相談支援、社会的自立に繋がる要となるところです。寄宿舎があることで、入舎生の家庭にも支援の手が届きます。

閉舎の理由に利用者の減少がありましたが、寄宿舎の入舎希望は毎年定員を超える申し込みがあります。

	H29	H30	R1	R2	R3
入舎希望者数	38	38	41	35	28
入舎人数	27	27	26	26	26

令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症対策で、宿泊できる人数を制限していますが、入舎生が減少したという新聞報道とは異なります。

遠距離が理由の入舎生、家庭環境が理由の入舎生は全体の半分ほどですが、毎年多くの希望者がいます。それは寄宿舎が、学校卒業後を見据え社会的自立に向けて、個々の障がい状況に応じて丁寧に指導をしてくれるところだからです。

だから卒業生とその保護者、地域で障がい児者を支える方たちも、寄宿舎が果たしてきた大きな役割をわかっているからこそ、存続を望むのです。

もう一つの理由の建物の老朽化の件は、10数年前から特別支援学校教育振興会に改修改善の要望を出し続けていましたが、十分な対応がなされないまま、今回の閉舎の発表というのは納得できるものではありません。応急の改修をしながら建物を大切に使い、過ごしてきました。

入舎生は、建物の古さなど気にせず寄宿舎での生活を楽しみながら過ごしています。丁寧に関わってくれる指導員の方々、そして学校で共に学ぶ仲間との生活の中で、とても遅く成長していきます。本当に大切なところなのです。

どうか在校生とこれから入学する子ども達のために、寄宿舎の存続を心から要望いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年3月8日

栃木県大田原市議会議長

君島孝明



【提出先】 栃木県知事 福田 富一 殿
栃木県教育委員会教育長 荒川 政利 殿

みなさんからの 請願・陳情 (委員会審査状況)

陳情第1号

栃木県立那須特別支援学校 寄宿舎閉舎の撤回と寄宿舎 存続を求める陳情書

(令和4年2月提出)

(提出者)

大田原市富士見2丁目

和久 千夏子

(大田原市障がい児者等保護者会
会長、元那須特別支援学校PTA
会長)

(陳情の趣旨)

- (1) 寄宿舎閉舎の撤回と寄宿舎存続を求めるもの
- (2) 関係者一同(在校生保護者・卒業生保護者・寄宿舎指導員)に対して、丁寧な説明と誠意ある話し合いを行うよう求めるもの。

(民生文教常任委員会)

審査の内容・結果

意見として「寄宿舎閉舎に関しては、十分な説明、質疑応答の機会があることがまず大前提であるにも関わらず、それがなされていない」二県は説明責任を果たすべきである「今後特別支援学校の生徒増が見込まれるとの報道がある」など議論がなされ、審査の結果、「採択」とすることをしました。

陳情第2号

日本の法令に基づき、新型コロナウイルス感染症予防に関連する強要は違法行為であることを、市民及び職場学校への周知徹底の陳情

(令和4年2月提出)

(提出者)

佐野市新吉水町547-2

栃木 命と人権を守る市民の会

代表幹事 葛西 慶子

(陳情の趣旨)

市内の職場及び学校内において、新型コロナウイルスの接種の強要、PCR検査や抗原検査による陰性証明提出の強要、及び、マスク着用を強要するハラスメント問題、雇止めや退職勧奨及び不当な解雇問題、差別やイジメによる人権侵害などを行わないよう周知徹底させることを求める。

(民生文教常任委員会)

審査の内容・結果

意見として「市内で強要が多発している」と認識できない」「弁護士に相談する場合、各種無料法律相談や、法テラスなど金銭的に余裕のない方への支援もある」二生きている上で専門家に従いたい」二そもそも人類が初めて遭遇する致死率が高い感染症であり、一人でも多くの命を守るための措置である」との議論がなされ、審査の結果、「不採択」とすることをしました。

陳情第3号

新型コロナウイルスワクチンのリスクとベネフィット両方の情報開示の徹底と被害者相談窓口の設置に関する陳情

(令和4年2月提出)

(提出者)

佐野市新吉水町547-2

栃木 命と人権を守る市民の会

代表幹事 葛西 慶子

(陳情の趣旨)

新型コロナウイルス接種に関して、市民が正確な判断や選択を自由にできるように、リスクとベネフィットの両方の情報を広報紙や接種券に開示し、インフォームドコンセントの徹底をすることや行政による被害者相談窓口を設置することを求める。

(民生文教常任委員会)

審査の内容・結果

意見として「リスクの説明は接種券に事細かに書かれているし、各社のワクチンの詳細な統計情報も出ている」二相談窓口は栃木県に24時間体制で設置されている」二接種時には問診もあり、接種対象者に対する説明は十分なされている」など議論がなされ、審査の結果、「不採択」とすることをしました。

請願・陳情はこんな方法で

- 請願(陳情)書は、議会事務局へ持参してください。
- 内容は簡単な趣旨、理由、提出日、請願(陳情)者の住所及び氏名を記載し捺印して提出してください。
- 用紙のサイズはA4版でお願いいたします。
- 道路や水路等の場合は地図の写しや略図を添付してください。

〈請願(陳情)書の書式例〉

《表紙》

〇〇〇に関する
請願(陳情)

紹介議員名
(陳情は不要)



《内容》

1. 請願(陳情)の趣旨
2. 請願(陳情)の理由
令和〇年〇月〇日

請願(陳情)者

住所
氏名
大田原市議会議長あて



1月~3月

協議会及び委員会の内容

全員協議会

- ◆1月17日 (報告事項)
 - 1 信金中央金庫「SCBふるさと応援団」制度による「企業版ふるさと納税」の寄附金受領について
 - 2 令和4年度大田原市行政組織の改編について
 - 3 令和3年度大田原市一般会計補正予算第9号及び第10号について
 - 4 大田原市会計報告書について
 - 5 大田原市地域公共交通計画に関するパブリックコメントの実施について
 - 6 大田原市災害廃棄物処理計画に関するパブリックコメントの実施について
 - 7 令和3年度大田原市教育委員会点検評価報告書(令和2年度実施事業)について
 - 8 那須地区広域行政事務組合議会臨時会報告について
 - 9 3月定例会の取り扱いについて
- (協議事項)
 - 1 大田原市議会議員倫理条例施行規則の一部を改正する議会規則について
 - 2 市民5分間演説の取り扱いについて
- ◆2月1日 (報告事項)
 - 1 令和4年度大田原市当初予算(案)の概要について
 - 2 大田原市福祉タクシー事業に係る助成方法の変更について
 - 3 大田原市自家用有償バス(大田原市営バス)路線等の一部変更について
 - 4 3月定例会について
- ◆3月1日(臨時) (協議事項)
 - 1 議員案第1号について

◆3月8日(臨時) (協議事項)

- 1 議員案第2号について

◆3月8日(臨時) (協議事項)

- 1 議員案第3号について

◆3月8日 (報告事項)

- 1 黒羽刑務所及び旧須佐木小学校の活用について
- 2 令和2年度 統一的な基準による財務書類について
- 3 第4期大田原市生涯学習推進計画の策定について
- 4 那須地区広域行政事務組合議会定例会報告について
- 5 那須地区消防組合議会定例会報告について

(協議事項)

- 1 大田原市議会議長交際費支出基準及び公表基準の制定について
- 2 大田原市議会事務局職員の職名に関する規程の改正について

総務常任委員会

- ◆3月2日
 - 1 付託議案の審査

民生文教常任委員会

- ◆3月2日
 - 1 付託議案の審査

建設産業常任委員会

- ◆3月2日
 - 1 付託議案の審査

議会運営委員会

- ◆1月17日
 - 1 3月定例会の取り扱いについて
 - 2 市民5分間演説の休止継続(再開)について
- ◆2月1日
 - 1 3月定例会の取り扱いについて

- ◆2月14日
 - 1 令和4年第1回市議会定例会の運営について

- ◆2月24日
 - 1 議案の訂正について

- ◆3月1日
 - 1 議員案第1号について

- ◆3月8日
 - 1 議員案第2号について

- ◆3月8日
 - 1 議員案第3号について

- ◆2月24日
 - 1 委員長及び副委員長の互選について
 - 2 分科会の設置について
 - 3 会議日程について

- ◆3月2日
 - 1 各分科会(第1、第2、第3分科会)全体会

- ◆3月4日
 - 1 全体会

- ◆3月12日
 - 1 議会報告会について

- ◆3月15日
 - 1 議会だより5月号について

- ◆3月15日
 - 1 議会だより5月号について

- ◆3月15日
 - 1 議会だより5月号について

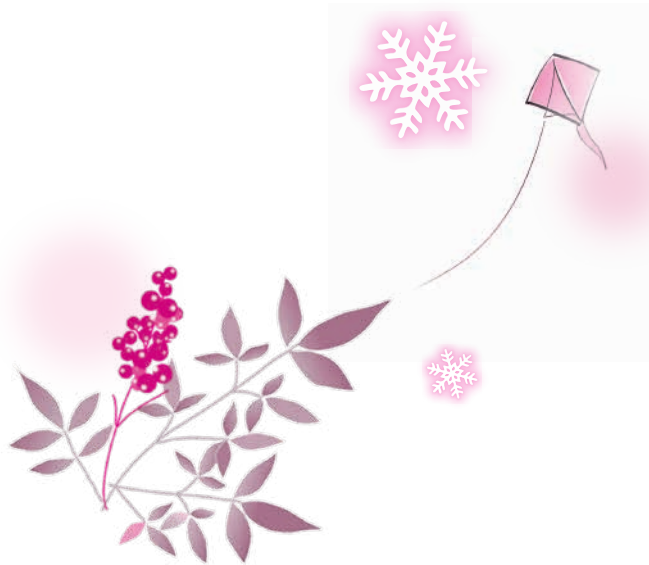
議

会

日

誌

1月



- 12日○広報広聴委員会
- 17日○議会運営委員会
- 全員協議会



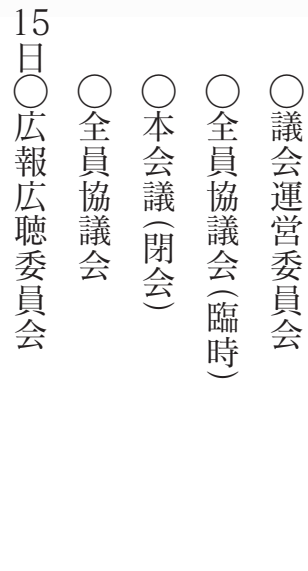
2月



- 1日○議会運営委員会
- 全員協議会
- 14日○議会運営委員会
- 16日○那須地区消防組合議会定例会
- 21日○令和4年第1回市議会定例会
招集(本会議)
- 22日○那須地区広域行政事務組合
議会定例会
- 24日○議会運営委員会
- 本会議(代表質問)
- 予算審査特別委員会
- 25日○本会議(代表質問)
- 28日○本会議(一般質問)



3月



- 1日○議会運営委員会
- 全員協議会(臨時)
- 本会議(一般質問)
- 2日○総務常任委員会
- 民生文教常任委員会
- 建設産業常任委員会
- 予算審査特別委員会各分科会
- 4日○予算審査特別委員会全体会
- 8日○議会運営委員会
- 全員協議会(臨時)
- 本会議(議決)
- 議会運営委員会
- 全員協議会(臨時)
- 本会議(閉会)
- 全員協議会
- 15日○広報広聴委員会



令和4年 6月定例会 開催のお知らせ

会 期 (予 定)

市議会HPはこちらから



6月13日(月)~6月22日(水)

※ 一般質問内容など詳細につきましては後日、議会ホームページで公開いたします。

『議会だより』の内容を **音声**  で聞くことができます

『音訳(デージー)版 議会だより』をご希望の方は、下記へお問い合わせください。

●福祉課 ☎0287-23-8921



市民5分間演説休止のお知らせ

大田原市議会では、市内に在住、在勤または在学する方で、議案に対する賛否や市の一般事務について、自分の意見を自由に発言することができる「市民5分間演説」を実施していましたが、コロナ禍による状況変化にともない、市民の安全・安心を推進している市議会としては、「市民5分間演説」は当面の間休止とさせていただきます。

また、将来において、コロナ禍が終息しうる状況になった場合には、市民の皆様のご参加をお待ちしておりますので、それまでにはご自愛くださいますようお願いいたします。

